

⚠ 当社運営サイトのドメイン (URL) 変更について

@IT > クラウド > Windows Server Insider > Windows 11のリリースで、どうなるWindows 10 : Win...

Windows 10 The Latest

Windows 11のリリースで、どうなるWindows 10

Microsoftが次期Windows OS「Windows 11」の発表を行った。Windows 11の提供開始で、Windows 10のサポートはどうなるのだろうか。また、同時に発表されたWindows 10からWindows 11への無償アップグレードの条件は、どんなPCでもクリアできるものなのだろうか。

🕒 2021年06月30日 05時00分 公開

[小林章彦, デジタルアドバンテージ]



印刷



通知



36



Share



6



🔒 この記事は会員限定です。会員登録（無料）すると全てご覧いただけます。

インデックス ●●● 連載目次



Windows 11が正式発表

Windows 11が2021年後半に提供されると発表された。Windows 11の登場で、Windows 10はどうなるのだろうか？ 今後のサポートの予定やWindows 11への無償アップグレードについて、原稿執筆時点で分かっている内容を解説する。

▶ 2021年6月24日（米国時間）にMicrosoftが次期Windows OS「Windows 11」の発表を行った。提供開始は、2021年後半が予定されており、Windows 10からの無償アップグレードも提供される（詳細は後述）。

▶ Windows 10（2015年7月29日）が提供されてから約6年半ぶりのアップグレードとなる。Windows 10がリリースされた当初は、「Windows 10は、Windows as a

検索



@IT eBook



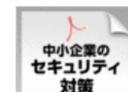
NRIのコンテナ/Kubernetes活用事例



テレワーク時代のWeb分離入門



新人向けLinuxコマンド



中小企業のセキュリティ対策

📄 一覧ページへ

Windows Server Insider 記事ランキング

本日

月間

- 1 いよいよ完全終了へ。Internet Explorer (IE) サポート終了スケジュール
- 2 Edgeの「IEモード」を、サポートが終了するIE代わりに使う方法
- 3 【Excel】共有を設定して複数ユーザーでブックを編集・更新する（ローカル編）
- 4 Windows 11のリリースで、どうなるWindows 10
- 5 【Windows 10】範囲指定して画面をキャプチャーする
- 6 【Windows 10】えっ、UTF-8じゃなくてShift-JISで？ お手軽文字コード変換方法まとめ
- 7 小数点以下の四捨五入/切り捨て/切り上げをExcelで自由自在に
- 8 Excelファイルのパスワードを設定、解除する方法
- 9 Windowsの「robocopy」コマンドでフォルダをバックアップ/同期させる
- 10 突然現れたタスクバーの天気予報を非表示にする【Windows 10】

Service (WaaS) であり、年2回提供される機能更新アップデートによって機能を更新・追加することで、『Windowsの最後のバージョン』になる」とされていた。

📌 ランキングをもっと見る

しかし、Windows 11が発表されたことで、Windows 10も終わりを迎えることになる。Windows 11の新機能なども気になるところだが、まだ正式提供前であり、不確定な部分も多い。Windows 11については、ある程度機能が見えてきたところで取り上げるとして、ここではWindows 11が提供されることで、Windows 10がどうなるのかについて、原稿執筆時点で分かっている範囲でまとめておく。

Windows 10のサポート終了はいつ？

Windows 11が発表されたことで、Windows 10のサポート終了日が2025年10月14日に確定した（企業向けの長期サービスチャネルを除く）。これまで、半年ごとの機能更新アップデートを適用していくことで、サポート期間が延長されてきたが、次期Windows OSである「Windows 11」が提供されることで、ついにWindows 10のサポートも終了することになる。

注意が必要なのは、これまでと同様、機能更新アップデートを適用しないと、2025年10月14日以前にサポートが終了してしまうことだ。例えば、Windows 10 October 2020 Update（バージョン20H2）のHome/Proエディションは、2022年5月10日でサポートが終了する予定となっている（Home/Proの各バージョンのサポート終了日は「Windows 10 Home and Pro」参照のこと）。

Windows 10の機能更新アップデートは提供されなくなる？

Microsoftによれば、Windows 10の次の機能更新アップデートである「バージョン21H2」の提供は予定通り、2021年11月前後に行われるとしている。

その後の予定については明らかにしていないが、Windows 10 Home/Proに対する機能更新アップデートのサポート期間は18カ月であり、このルールが継続するとすると、バージョン21H2のサポートが2023年5月ごろに終了してしまうことになる。

Microsoftは、「2025年10月14日まで、少なくとも1つのWindows 10半期チャネルを引き続きサポートする」としていることから、2025年までに2回以上の機能更新アップデートの提供はあるものと思われる（ルールが変更されて、バージョン21H2を最後までサポートするという可能性も否定できないが）。Windows 11の機能更新アップデートの提供が年1回になるとしていることから、それに合わせてWindows 10の機能更新アップデートが提供されるようになる可能性もある。

Windows 11が提供されることから、Windows 10に大きな機能追加などは行われる可能性は低いものの、**2025年10月14日まではこれまでと同様にWindows 10が利用できる**。

Windows 11への無償アップグレードへの対象が調べる

Windows 11の発表では、同時にWindows 10からWindows 11への無償アップグレードを行うことが明らかにされている。このアップグレードは、Windows 11の提供開始から少し遅れて、2022年前半から順次可能になるとしている。

ただ、全てのWindows 10 PCが対象ではなく、下表のWindows 11の「ハードウェア仕様の最小要件」を満たす必要がある。ここ2年程度のPCであれば、十分にクリアできる要件になっているものの、実は意外とハードルが高そう。

ITmedia 横断企画



▶ 大日本印刷・北島社長が語る「DXを経営の柱に据えた理由」 データを活用して出版界全体の改革に取り組む

▶ 【解説】ウォルマートのIoTは、何がすごいのか

キャリア・スキルアップ情報



Laravel実践入門！ シンプルなREST APIを実装して学ぶ、多機能なPHPフレームワークの使い方



API開発の基本 - 銀行APIの開発事例に学ぶ「使いやすい」のデザインプロセス【キャリア・スキルアップなら@ITキャリア】

注目のテーマ



ローコード開発



ゼロトラスト/SASEが問うIT部門の役割

ぶちよーでも分かる

AI・機械学習



ニューノーマル時代のセルフモチベーション

システム開発ノウハウ【発注ナビ】

- PR -



SESから受託開発へ。1時間でわかる受託案件を自社で獲得する方法



SESの一步先へ 受託案件を増やしたいシステム開発会社が取べき行動は？



kintone開発で実績豊富な開発会社【最新版】

項目	仕様
プロセッサ	1GHz以上で2コア以上の64bit互換プロセッサ/SoC
メモリ	4GB以上
ストレージ	64GB以上の記憶装置
ファームウェア	UEFI、セキュアブート対応
TPM	TPMバージョン2.0
グラフィックス	DirectX 12 以上 (WDDM 2.0ドライバ) 対応
ディスプレイ	対角サイズ9インチ以上で8bitカラーの高解像度 (720p)

Windows 11の「ハードウェア仕様の最小要件」

要件がクリアできているかどうかは、「Windows 11登場」ページの「互換性」欄でダウンロードできる「PC正常性チェック」ツールで確認できる。ただ、Windows Blog「Update on Windows 11 minimum system requirements」によれば、要件などを含めてツールを更新する予定だとしており、現在ツールはダウンロードできないので注意してほしい。本稿では、提供されていたPC正常性チェックツールで確認した結果で示す。



編集部からのお知らせ



2021年6月22日、新サイト「クラウドネイティブセントラル by @IT」を開設しました

1 Webブラウザで「<https://www.microsoft.com/ja-jp/windows/windows-11>」を開く

2 画面をスクロール

3 【アプリをダウンロード】をクリック

リリースに向けて

Windows 11のリリースは、2021年後半を予定しています。ご興味のある方は、

互換性の確認

お使いのPCがWindows 11を動作するために必要な要件を満たしているかどうかは、こちらのチェックアプリでご確認頂くことができます。互換性の確認がとれば、提供時に無料でアップグレードができます。

アプリをダウンロード>

プロセッサ	1千ヘルツ (GHz) 以上で 2 コア以上の 64 ビット 互換プロセッサまたは System on a Chip (SoC)	グラフィックスカード	DirectX 12 互換のグラフィックス / WDDM 2.x
メモリ	4 GB RAM	ディスプレイ	9インチ以上、HD解像度 (720p)
ストレージ	64 GB 以上の記憶装置	インターネット接続	Windows 11 Home Edition のセットアップには Microsoft のアカウントとインターネット接続が必要です

機種によっては特定のハードウェアが必要になるため、[システム要件の詳細を確認してください](#)

Windows 11への無償アップグレードへの対象か調べる (1)

Webブラウザで「<https://www.microsoft.com/ja-jp/windows/windows-11>」を開き、「リリースに向けて」欄が表示されるまで画面をスクロールする。「互換性の確認」欄にある【アプリをダウンロード】をクリックすると「WindowsPCHHealthCheckSetup.msi」がダウンロードできる。対象かどうか調べたいWindows PCで、このMSIファイルを実行すると、「PC正常性チェック」ツールがインストールできる。

Windows 11への無償アップグレードへの対象か調べる (2)

PC正常性チェックツールを実行すると、このダイアログが表示されるので、[今すぐチェック] ボタンをクリックする。



**Windows 11に
対応しているか確認可能**

**このPCでWindows 11を実行
できます**

いいお知らせです。このPCは、Windows 11のシステム要件をすべて満たしています。しかも、無料です。インストールの準備が完了したら、お知らせします。

詳細情報

Windows 11への無償アップグレードへの対象か調べる (3)
Windows 11との互換性チェックが行われ、結果が表示される。

PC正常性チェックツールで「対応していない」と表示された場合

このツールを実行すると、Windows 11に対応しているか確認できるが、対応していない場合、どこがクリアできていないのかは示されない。そのため、自分のPCのスペックと上記のWindows 11のハードウェア要件を比較して推測するしかない。

ただ、要件には合致してそうだが、「Windows 11に対応していない」と表示されるものもある。例えば、Microsoft Surface Pro 4 i5は、メモリが4GBとギリギリであるものの、その他の要件は余裕でクリアしていた。しかし、PC正常性チェックツールを実行したところ、「Windows 11に対応していない」と表示されてしまった。

[続きを読む](#)

Copyright© Digital Advantage Corp. All Rights Reserved.

Windows 10 The Latest 連載一覧

☑ 次回の掲載をメールで受け取る

- ▶ **第83回** Windows 11のリリースで、どうなるWindows 10
- ▶ **第82回** アプリのインストールや更新をコマンドでサクッと実行「winget」の使い方
- ▶ **第81回** Windows 10 May 2021 Update (バージョン21H1) で追加された機能、削除された機能まとめ

▶ 第80回 Windows 10にアプリをインストールできない!? 原因が「Sモード」ならこうして解除だ

▶ 第79回 ついにWindows Terminalの設定がGUIで可能に プレビュー版v1.7が公開【Windows Terminal完全マスター】

☰ 過去の連載記事が 78 件あります

チェックしておきたい人気記事

この記事に関連する製品／サービスを比較（キーマンズネット）

- ▶ ディストリビューションの違いは要確認！『Linux』製品比較
- ▶ 用途にあったOSやエディションを選択できていますか？『Windows Server』関連製品情報

印刷
 通知
 36
 Share
 6

@ITについて

- お問い合わせ
- 利用規約
- 著作権・リンク・免責事項
- サイトマップ

RSSについて

[@ITのRSS一覧](#)

アイティメディアIDについて

[アイティメディアIDとは](#)

メールマガジン登録

@ITのメールマガジンは、もちろん、すべて無料です。ぜひメールマガジンをご購読ください。

[申し込みページへ](#)

ITmedia Inc. ITmediaはアイティメディア株式会社の登録商標です。

[メディア一覧](#) | [公式SNS](#) | [広告案内](#) | [お問い合わせ](#) | [プライバシーポリシー](#) | [RSS](#) | [運営会社](#) | [採用情報](#)